

令和4年度第1回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 令和4年7月28日(木) 10時00分～11時30分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

3 出席者

(1) 委員

吉野知義 委員長・松尾修一 副委員長
熊井知子 委員・古賀義明 委員・萩原忠 委員・細川芽 委員
松崎萌 委員・三上浩司 委員・本杉みゆき 委員

(2) 事務局

中島中央図書館長・平岡中央図書館情報資料課長
高石みやこ図書館長・三浦花見川図書館長・湯川稲毛図書館長
山崎若葉図書館長・真田緑図書館長・山崎美浜図書館長
内海生涯学習振興課長・児玉中央図書館管理課長補佐
萩屋中央図書館情報資料課長補佐

(3) 傍聴人

10人

4 議 事

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
- (2) 令和3年度千葉市図書館の評価(案)について(評価実施:R4、評価対象:R3)
- (3) 令和4年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について
- (4) その他

5 概 要

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
委員の互選により、吉野知義 委員が委員長に、松尾修一 委員が副委員長に選出された
- (2) 令和3年度千葉市図書館の評価(案)について(評価実施:R4、評価対象:R3)
 - (ア) 令和3年度千葉市図書館の評価(案)について〔事務局説明〕
 - (イ) 質疑応答・協議
- (3) 令和4年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について
 - (ア) 令和4年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について〔事務局説明〕
 - (イ) 質疑応答・協議
- (4) その他
 - (ア) 外部評価部会員の選出について
委員長の指名により、萩原忠 委員、細川芽 委員、三上浩司 委員が選出された

- (イ) 第6次千葉市生涯学習推進計画(案)について
第6次千葉市生涯学習推進計画(案)について報告した

6 会議経過

<開会>

- 会議資料の確認
- 中央図書館長あいさつ
- 事務局より協議会の成立について報告
- 会議の公開について

<議事>

(1) 委員長及び副委員長の選出について

中島館長 それでは、委員長選出までの間、議事を進めさせていただきます。まず、次第の議事(1)委員長及び副委員長の選出についてですが、お手元にお配りしております「千葉市図書館協議会 委員名簿」をご覧ください。
委員長及び副委員長は、千葉市図書館管理規則第24条第1項の規定により、委員の互選によるものとされております。
委員の皆さんよりご意見はございませんでしょうか。

萩原委員 大宮中学校の萩原でございます。私は前任期から引き続き委員をさせていただいております。前任期では、吉野前委員長さんのもと、大変有意義な議論ができたと思っております。
委員長につきましては、図書館に関する学識経験者であり、再任された吉野委員さんに是非お願いしたいと思います。
吉野委員さんには大変ご負担をおかけしてしましますが、引き続き委員長にご就任いただければ、と思います。

中島館長 ありがとうございます。ただいま、萩原委員さんから、委員長に吉野委員さんを、とのご意見がございましたが、いかがでしょうか。

委員 <異議なし>

中島館長 ご異議ございませんので、委員長に吉野委員さんが、選任されました。
吉野委員長に、これからの議事をよろしくお願いいたします。

吉野委員長 これより、議事進行を務めさせていただきます。
まず、副委員長の選出についてですが、委員の皆さんよりご意見はございませんでしょうか。

委員 <意見なし>

吉野委員長 そうしましたら、私から恐縮ではございますが、副委員長には、前協議会において様々なご意見をいただきまして、千葉市保育園協議会からご推薦をいただいている松尾委員さんをお願いしてはいかがでしょうか。

委員 <異議なし>

吉野委員長 ご異議ございませんので、副委員長に松尾委員さんが、選任されました。

(2) 令和3年度千葉市図書館の評価(案)について(評価実施:R4、評価対象:R3)

吉野委員長 それでは、次第の議事(2)令和3年度千葉市図書館の評価に入らせていただきます。

新しい委員の方もいらっしゃいますので、事務局から評価についての流れを簡単に説明してください。

児玉中央図書館管理課長補佐

中央図書館管理課の児玉でございます。評価の流れについてご説明させていただきます。

まず、これまでの概要でございますが、平成21年度に、千葉市図書館のサービス向上を図るために策定されました「千葉市図書館サービスプラン2010」におきまして、毎年度、具体的で分かり易い達成目標を定め、計画的に事業を実施し、その事業活動実績について、図書館による内部評価と、この協議会による外部評価を行い、結果を公表することとされております。

令和元年度に、「千葉市図書館ビジョン2040」の策定に伴い、「千葉市サービスプラン2010」については、必要な施策などを引き継いだ上で、廃止となりましたが、同プランを基に実施している図書館運営状況の点検・評価については、図書館法及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」において実施が求められていることから、引き継ぎ実施いたします。

これを受け、昨年度7月に開催されました「第1回千葉市図書館協議会」におきまして、「令和3年度千葉市図書館サービス取組項目と評価指標」をご審議いただき、承認・決定されました。

「取組項目」につきましては、「千葉市図書館サービス取組項目と評価指標」を用いております。

その、取組項目に対する、令和3年度の取組結果等に基づきまして、まず、市図書館内部での内部評価を行い、その内部評価を基に、6月29日に、前任期の委員であった細川委員を評価部会長として、また、萩原委員、木元委員を部会員として、合計3名の委員の皆さんで「外部評価部会」を開催し、評価

を行っていただきました。

本来であれば、外部評価部会を早めに開催し、外部評価案をご審議いただく本協議会を、前年度の任期中の6月中に開催すべきところでしたが、昨年度の協議会において、評価項目に対する様々なご意見に関し検討のための時間を頂戴する必要があったことから、この時期の開催とさせていただきます。

外部評価をいただいたお一人の委員の方が、任期更新でいらっしゃらない等、イレギュラーな形となりましたが、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

「令和3年度千葉市図書館の評価」の評価項目に関しては、昨年度協議会でいただいたご意見を基に事務局案を作成いたしました。前回の令和2年度評価からの主な変更点をご説明します。

それでは、お手元の「資料1」をお願いいたします。

まず、2ページをご覧ください。「令和3年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標」中、基本目標1の1「未来へつなぐ「知」の収集・保存、利活用の促進」の基本的な取組事項に組み込まれていた項目を、「図書館サービスの基本的な取組事項」として別立てしております。

次に、3ページですが、令和3年度の主要・新規事業を一覧にし、掲載いたしました。

続きまして、「評価」ですが、1ページに戻っていただき、評価結果一覧をご覧ください。

令和2年度評価では5つの施策ごとに内部・外部評価を行ったのに対し、令和3年度評価は、「図書館サービスの基本的な取組事項」及び「主要・新規事業項目」について、内部・外部評価を行う形式となっております。

5つの施策ごとについては、進捗状況を「達成」、「順調」、「遅れ」の三段階でお示しております。

最後になりますが、資料の末尾2ページ(26、27ページ)には評価総評を加えておりますので、よろしく願いいたします。

次に、取組結果と内部評価の概要についてご説明させていただきます。

〈議事(2)令和3年度千葉市図書館の評価(案)に関する説明〉

吉野委員長　ご説明ありがとうございました。続きまして、外部評価について、前任期評価部会で部会長を務められた細川委員より説明いただけますか。

細川委員　内部評価を基に、前任期の委員であった萩原委員及び木元委員とともに外部評価を行いました。今回の評価では、「図書館サービスの基本的な取組事項」及び「主要・新規事業項目」について評価を行いましたので、簡単にコメントさせていただきます。

まず、2ページ、「図書館サービスの基本的な取組事項」でございます。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながらも取り組んだ結果、新規登録者数

や来館者数等、前年度と比較し、増加傾向にあることから A 評価といたしました。また、コロナ禍前の水準と比べても利用拡充するよう引き続き、図書館の基本となるサービスを充実させることが求められます。また、年間受入冊数ならびに図書資料費(決算)が前年度より減少しているため少なくとも現状維持で推移するよう努めていただきたいと思います。

次に、3ページ、「主要・新規事業」でございます。外部評価では、8項目のうち、A 評価が6項目、B 評価が2項目という結果になりました。

はじめに、A 評価としました項目についてコメントさせていただきます。地域情報のデジタル化の推進、及び市民インタビューによる記憶の保存について、千葉市オーラルヒストリーをデジタルアーカイブ上で公開する取組みは、千葉市内の市井の方々の歴史を後世に残すという役割を果たしており、評価できます。また、写真をうまく取り入れて見やすいレイアウトになっている所も評価するものの、学校における授業で活用することを考え、小学生にも分かりやすくルビを振るなど工夫していただきたいと思います。

なお、アーカイブ化はこれから必要なサービスと考えられることから、デジタル資料の収集の考え方を整理することが望まれます。また、デジタル化を進めるにあたり、知識や技能など専門知識を有する人材の養成について、市独自で行うことは難しいので他機関で行っている講習会を積極的に活用し、取り組んでいただきたいと思います。

それから、電子書籍サービスの導入について、図書館に来館しなくても図書資料を借りることが可能となり、特にコロナ禍の現在におきましては、非常に有用です。今まで利用しなかった利用者を拡大したことは評価いたします。ICT を活用したデジタル情報サービスの更なる充実を図るため、有料データベース等の導入についても検討をお願いいたします。

最後に、図書館利用登録の促進のため、学校を通じて、新就学児へ利用申込書を配布するなどの学校や学校図書館と連携した事業の取組みについて、相互の強みを生かし、弱みを補うことができる点から評価できます。引き続き、市教育委員会の図書館主任研修会等へ図書館職員が出席することで、学校図書館と市立図書館が連携し、今まで図書館を利用したことがない児童生徒が図書館に足を運ぶきっかけとなるよう、各学校へ更なる周知を図っていただきたいと思います。また、学校だけでなく市内の他機関についても積極的に連携に努めていただきたいと思います。

続きまして、B 評価としました項目についてコメントさせていただきます。

花見川図書館、こてはし台公民館の複合化について、ワークショップの開催を行っていただくなど評価できる一方で、周知や説明の時期について適切ではなかったのではないかと意見も出ております。図書館を運営するにあたって、地区図書館、地区図書館分館、移動図書館等の利用状況を精査した上で、市の図書館サービス拠点について検討を行っていただきたいと思います。また、再整備

にあたり、利用者や地域住民に対し、情報の公開と、意見を聴取する機会を設けていただきますようお願いいたします。

学校レファレンスカードは良い取組みであるものの学校に周知が不足、利用が少ないことから改善が望まれます。利用冊数の見直しや地区図書館等で受け取りができるようにするなど、学校の声聞きながら、より利用につながるサービスとなることを期待いたします。また、団体貸出についても、改善を図りながら利用の促進を図っていただきたいです。説明は以上になります。

なお、今回評価いたしました項目のほかにも、取組一覧のとおり、沢山の取組みがございます。中には改善の余地があるものや、今後検討する項目もございますので、図書館サービスの向上に努めていただくとともに、今後の取組みをより具体的に進めていただく事を期待しております。

項目数が多く、ご覧になるのも大変かと思いますが、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

吉野委員長　ご説明ありがとうございます。では質問、ご意見ございましたら挙手をお願いします。

本杉委員　よろしくお願いたします。まず、「図書館サービスの基本的な取組事項」の内部評価についてです。A 評価が多く良いことだと思いますが、具体的にどのような方々が参加しているのでしょうか。要するに、貸出・返却・レファレンス等、市民と直接関わる方、反対に管理する立場の方、色々な方が参加されていると思いますが、どの位の割合で評価されているのかを伺いたいです。

また、「図書館サービスの基本的な取組事項」は、令和2年度評価では、「その他」に上がっていたところが、別立てされて分かりやすくなったと思います。

ただ、他のところは取組項目とかあるんですが、そちらに関しては取組項目の検討事項という、もう少し小見出しの方が分かりやすいかなと思ひ発言させていただきました。取組説明ということで、資料を有効に活用し～、とありますが、それに対して具体的な取組事項を上げて、また、それに対する取組結果を上げていただけたら分かりやすいかなと思ひました。

吉野委員長　一つ目は内部評価している職員構成ということでよろしいでしょうか。では事務局から説明いただけますか。

中島館長　ご意見ありがとうございます。内部評価の取組結果につきましては、中央図書館・各地区図書館で取り組んだ内容を、それぞれまとめたうえで評価を行ったものでございます。

本杉委員　取組結果は、中央だけではなく、地区館も入っているということですね。地区

館、どこの館等分かると、私たちも評価しやすいかなというところがありまして、ここの図書館ではこういうことをやっているんだと分かりやすくなっているといいかなと思いました。

中島館長 ご意見ありがとうございます。
地区館等の名称も分かるように、今後工夫させていただきたいと思います。

吉野委員長 その他にご意見ありますでしょうか。
結構ボリュームがあるので見るのも大変ですが、まとまったところができたと
思います。
特にご質問・ご意見がなければこの案で承認ということにしたいと思いますがよ
ろしいでしょうか。

委員 <異議なし>

吉野委員長 それでは、この案は承認ということで進めたいと思います。

(3) 令和4年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)について

吉野委員長 続きまして、議事(3)「令和4年度 千葉市図書館のサービス取組項目及び
評価指標」に入らせていただきます。今年度の評価を行うにあたり、今年度の
取組項目や達成目標をここで審議し、定めるものです。
事務局より説明をお願いします。

児玉中央図書館管理課長補佐

それでは、議事(3)「令和4年度千葉市図書館のサービス取組項目及び
評価指標」について、ご説明させていただきます。
≪議事(3)令和4年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)に
関する説明≫

吉野委員長 ご説明ありがとうございます。では質問、ご意見ございましたら挙手をお願い
します。

三上委員 三上と申します。よろしくお願ひいたします。評価指標に基づいて、どのよう
に具体的にこれから取組まれるか、というのも含めて質問させていただいてよ
ろしいでしょうか。
まず4ページですが、知のアーカイブ化計画ということで、私も PDF ファイルでア
ップロードされているオーラルヒストリーを全部読ませていただき、確かに、先ほ
ど細川委員よりルビを振るとか、それから去年の意見としてもう少し写真をとか

は、なるほどな、と思ったのですが、全体的によくまとまっていると思ったのですが。

一つ質問させていただきたいのは、オーラルヒストリーの収集するテーマをどのように決定されているのか。民間事業者を活用するということで、ホームページも拝見したのですが、テーマの設定そのものを民間事業者に委託するのか、或いは図書館の方でおやりになるのか。

何故かと申しますと、学校での活用ということを検討した場合、例えば、千葉市の発展とか、そういうことが一つのテーマとしてあって、それに基づいて体系的にオーラルヒストリーが収集されていけば、学校でも利用しやすいと思います。今のままだと、単発的な利用、まだ始まったばかりですから、経験を申し上げるのは失礼だと思うのですが、なかなか学校で利用ということをイメージしにくいのではと思いました。

それから5ページ(6)ですね。地域の歴史等を研究している団体への支援、とありますが、例えば、こういう団体とのタイアップまで変貌されていくのかも教えていただければと思います。

吉野委員長 ありがとうございます。では事務局から回答いただけますか。

平岡中央図書館情報資料課長

平岡でございます。まず、知のアーカイブ化計画の関係でご質問いただきました、テーマの設定については、図書館が設定しております。社会科の教諭のOBの方とか交えて昨年度まではテーマを設定しておりましたので、それを参考にテーマを設定しております。今年度は少し広げて、庁内でも町内自治会を所管している部門で、文化振興スポーツ、様々な分野がございますのでそういう関係課の方に、関係するそういう記憶を持っている人材の方をご推薦いただくような形で資料収集し、その上でどういう形で実施していくのか設定していきたいなというふうに思っています。

分野については、千葉市の発展に何らかの形で貢献したということと、千葉市の街づくりに関係した方、とは思っています。ですから、昨年度は郷土芸能の方が多かったのですが、今年度は地域の町内自治会で活躍した方、民生委員などで活躍された方なども加えて、幅広く収集していきたいと思います。

それから、学習成果の関係のところ、団体への支援内容ということなんですけれども、これから市の方がどういう支援ができるのかについて、まだ不透明な部分があるので、まずは、そういう団体の方に話を聞きながら、どういう形での支援ができるのかを、今後調査研究したいと思っています。

三上委員 もう一つ加えてよろしいでしょうか。アーカイブの中身ですが、現在は、PDF ファイルでアップロードされていると思います。荒唐無稽な話で申し訳ない

んですが、今の子どもたちは、動画を色々な物で見ることが、一般的になっていますので、これは肖像権の問題とかなかなか難しいところがあると思いますが、コンパクトに動画でまとめるような形で、PDF と併せて、アーカイブを進めるとかそういう事は何か検討されているのでしょうか。

平岡中央図書館情報資料課長

動画の方が関心をもって見ていただけるという観点から大変素晴らしい取り組みだと思います。現時点では、動画の方までは考えておりませんが、今後そのような部分につきましても検討していきたいと思っています。

吉野委員長 その他いかがでしょうか。

本杉委員 11ページに中央図書館の機能強化というところで、有資格の職員の割合という記載がありますが、令和3年度の実績が55.7%で達成目標が対年度比増とあります。内容を見させていただくと、会計年度任用職員の方は、ほぼ100%近い数字を出されていますが、正規職員の方が、23.5%というのはちょっと少な目ではないかというふうに個人的に感じます。「知」の提供プラットフォームの構築ということで色々されていると思うんですけど、やはり図書館の業務の進む方針の決定になる司書の資格を持つ方がもっと増えていただくと図書館を利用する側としては嬉しいなと。これは図書館だけではないと思うので、図書館の方から増やして欲しいと述べることもできるのか分からないですが、具体的にどのように有資格の職員の割合を増やすということをするのかというのを伺いたいと思います。

中島館長 ご意見ありがとうございます。

正規職員の有資格率を上げるために、市役所の中で人材公募制度というのがございまして、自分の興味があったところに立候補し選考を受けていく制度でございます。人材公募制度実施要項に基づき、広く人材を公募し活用していきたいと考えているところです。また今働いている職員が司書の資格を取りたいと思った時には司書の資格を取りやすいよう環境の整備を行っていきたく思っております。今後このような人材の確保や、研修の充実等に努めるとともに、環境整備にも努めていきたいと考えているところでございます。

本杉委員 ありがとうございます。是非この23.5%を、全体の割合(55.7%)に近づくようにしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

吉野委員長 ありがとうございます。他いかがでしょうか。

細川委員 12ページ(8)の図書館間相互貸借資料数につきまして、令和4年度の達成目標が対前年度比増ということで、目標として増えればいいというような書き方をしています。確かに、相互貸借で他の図書館等も色々利用が増えるというのはいいという面もありますけれど、貸出については、自分の館の図書を、他の館に貸し出すということで役に立っているということでもいいのですが、借受というのは、利用者の立場に立つと、自分の図書館にないので他の図書館から借りるということで、入る日数もかかりますし、職員の手も煩わせます。本当は利用者が求める本が全部千葉市の図書館にあれば一番いいことです。借受・貸出両方とも前年度比増という目標を作っているというのが、過去の令和2年度、元年度、昨年度と出ています。借受の実績ですが、昨年度は平成30年度と同じ水準、令和元年度・2年度は少な目で、確かにコロナの影響で利用自体が少ないというのもあるのかもしれないですけども、本当は自分の図書館で全部手配できるのが一番いいので、まとめて対前年度比目標という書き方でいいのかなと、ちょっと疑問を持ちました。

吉野委員長 ありがとうございます。選書とかの関係になると思いますけれど、事務局からコメントいただけますか。

平岡中央図書館情報資料課長

細川委員からご指摘あったところも踏まえてさらに検討させていただければと思います。ただ考え方としてはコロナでこちらとしては貸出サービスがだいぶ落ち込んでいる中で多くの方に利用していただくというのがあるんですが、ご指摘を踏まえて再整理していきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

吉野委員長 ありがとうございます。松崎委員、挙手いただいていたね。

松崎委員 5ページのSNSを活用した知識の交流を促す仕組みの構築ということで、SNSを活用した知的な交流の場の設定について検討していきます、とありますが、SNSを使って何をしたいのかがちょっと曖昧だなと思いました。例えば広報活動だったり、後はオンライン・対面で限らないサービスの提供などができたりということが理由としてあると思われるんですが、そういった理由を上げていただいて、SNSを活用したいというような。具体的にどういったことを見越してSNSの活用をしたいのかというのを書いていただけたらと思いました。Twitter だったり、Facebook だったり、色々SNSによっては対象の方とかどういったことができるかとか違いもありますのでその辺りも検討していただきたいと思いました。

吉野委員長 ご助言という形になると思いますが、事務局からコメントいただけますか。

中島館長 ご意見、そしてアドバイスいただきありがとうございます。

SNSに関しましては、今まで図書館は Facebook を中心にやってまいりましたが、昨年度新たに Twitter を始めました。Twitter の方が、即時性があるということで、今まで Facebook で企画展示や市民講座等、ご案内していたところですが、昨年度から、Twitter でも同様に案内を始めるようになったところがございます。

交流を促す仕組みとして、まずはそのような情報を Twitter や Facebook、そしてホームページを使って皆さんにご案内をさせていただきたいと思っております。松崎委員さんからご意見いただいたとおり、説明が足らずに何をやるのかわかりにくいということもありますので、今のご意見を受けましてもう少し分かりやすいよう内容を書いていきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

本杉委員 先ほど、図書館から相互貸借資料の件で話がありましたが、当然、利用者側としてはリクエストをかけて、こういう本が借りたいと。無いから借受の形になると思えますけれど、カウンターでリクエストしたのに関してその場で断られたという話を聞いたことがあります。

リクエスト本の選書に関して、合同選書会議というものがあると記載がありましたけれども、どの程度反映されているのかなと、気になったので質問させていただきました。

萩屋中央図書館情報資料課長補佐

リクエストをお受けしてもやはり購入できないものがございまして、図書館自体が購入については蔵書の構成等考えながら、例えば、マンガであるとか、そういったものについてはお受けしてもすぐには買えないということでその場でお断りしてしまうということも充分ございまして。

マンガの例になってしまいますけれど、県内でどこか持っていれば受けるというような形です。いぶん事案化はしているんですが、やはり当然千葉市の図書館での合同の選書会、その中でリクエストされて、所蔵内容については協議させていただくところもあるんですけども、そこで他館にお願いするもの、こちらで工面するものと、そういったものについては判断させていただいているような状況になっております。

ですので、なかなかリクエストは合同選書会議の中でどういった選択しているのか分かりにくい感じもあるんですけども、そこはご承知のように資料購入費の予算も少なくなってる状況の中でしっかりと吟味はさせていただいてやっていくという状況になっております。

吉野委員長 ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。

古賀委員 図書館施設の老朽化への対応の件ですけれども、今年度、令和4年度最終という形で令和5年度はリニューアルオープンということになりますのでもう時間がないですが、やはり懇切丁寧に、利用者、それから地域の人たちの意見を100%聞くことは無理かもしれませんが、どこまで歩み寄れるかというのをいつも心に気にしていただいて進めていただければなと思いました。

令和3年度の実績を見ても内部評価ではAという評価になっておりますけれども、やはり外部評価で一歩いかないところがあったのではないかなというのは指摘だと思っていますね、これがB。スケジュール通りに説明会を開いた、意見をアンケートで聞いた、それをやったというだけでAという評価になっているのかなというところがありますので。こういう施設をつくるというと、われわれが取材してみると、どうしても反対の意見が出てきます。反対の意見を全て聞くことはできませんが、せつかく作るものですから、利用者の方の意見は尊重してどこまでだったら歩み寄れるかというのを最後の最後まで手を抜かないでやっていただきたいというふうに思います。令和5年度の活動としてそれはやっていただきたいと思います。

吉野委員長 ありがとうございました。この場でも、地域の方については、色々ご意見はいただいておりますので、的確なご助言をありがとうございます。
事務局からありましたらお願いします。

中島館長 ご意見、ご助言ありがとうございます。昨年度、花見川図書館につきましてはワークショップを行い、地域の方々のご意見を頂戴したところでございますが、回数や期間など不十分に感じられた点があると感じているところではございません。

ワークショップでいただいたご意見等は新しい花見川図書館を設計する際にできる限り反映させていただきました。

続きまして、若葉図書館の改修ですが、同様にワークショップを行ったり、今後アンケートや、子どもたちの声を聞いたりと今まで以上に地域の方々、そしてご利用者の方々の意見を聞いて設計に反映していきたいと考えているところでございます。

吉野委員長 ありがとうございます。善処されているということで、これからもよろしくお願ひします。
その他いかがでしょうか。

三上委員 7ページの(6)、それから(7)ですけれども、先ほどの令和4年度の実組み

を拝見していて、小学校、中学校、特別支援学校との連携、それからそれぞれの学校への働きというのが色々とやられているということで本当に頭が下がる思いなんです。私は元々高校の教員だったものですから、例えば高等学校まで少し上に広げて、高校へ出向いてそこでカード登録しなさいとかそれはなかなか難しいと思うんですけども、何か高校生に市内の図書館を存分利用してもらえそうな、そういう取組みについて何かお考えなっていたら教えていただきたいと思います。

私も図書館利用させていただくんですが、私と同年代の方がどうしても多くて、なかなか若者は学校があるので難しいんですけども、できるだけその地域の中核ということを考えますと、やはり若い人にできるだけ利用を促進するような形の一つとして例えば高校との連携とか何か考えられればなど。漠然とした質問で申し訳ないですけど、そんなことを考えてましたので、その辺のお考えを聞かせていただければと思います。よろしく願いいたします。

平岡中央図書館情報資料課長

市立図書館ということで、これまで市立という小・中学校が中心となって、市立高校は千葉と稲毛2校ございまして、県立となると、県という他機関になるので少しハードルが上がる部分があるんですが、いずれにしても、高校生に関してもフォーカスして何かできるのか今後検討していきたいなと思います。ハードルが高いからといって尻込みするのではなくてチャレンジしていけるように検討していきたいなというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

三上委員 日々お忙しい中、また負担を増やすようなことを申し上げて申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。

山崎若葉図書館長

若葉図書館です。参考ですが、図書館では高校との連携として、高校生による読み聞かせを年に数回行っており、若葉図書館では若葉区内に桜林高校がございまして、その高校生の生徒さんと連携した「高校生が語るおはなし会」を小学生向けに夏と秋にやっています。高校生はボランティアの観念の育成と読書への関心のために。お子さんは高校生のお姉さんに読んでもらうという機会がもてると、そういう取組みをしておりますので、今後も高校へは働きかけていきたいと思っております。

吉野委員長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
それでは、ご意見等ここまでということにさせていただきまして、基本的にはこの案のとおりですが、修正をいただくところが、相互利用のところの達成目標、それからSNS利用のところを具体的に追記するところがあったと思います。その

件については、事務局におきまして修正、検討いただきまして、修正案ができましたら各自にお届けしていくという流れにさせていただきたいと思っております。

(4) その他

吉野委員長 議事は終了いたしました。
続きまして、次第の「その他」ですが、私の方から提案がございます。
今後、図書館の評価を執り行うに当たりまして、「外部評価部会」の部会員選出をいたしたいと考えますが、いかがでしょうか。

委員 <異議なし>

吉野委員長 ありがとうございます。
それでは、千葉市図書館管理規則第26条第2項により、部会員に関しましては、委員長が指名することと規定されておりますので、私の方で指名させていただきます。
まず細川委員さん、それから萩原委員さんで、特に学校連携との関係でお願いしたいと思います。それから今回新たに就任されました公募委員から、三上委員さんをお願いさせていただきたいと思っております。
以上、3名の構成としたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

委員 <異議なし>

吉野委員長 ありがとうございます。部会員の皆さん、よろしく申し上げます。
では、その他、事務局からになります。第6次千葉市生涯学習推進計画(案)につきまして、説明をお願いします。

児玉中央図書館管理課長補佐

それでは、「第6次千葉市生涯学習推進計画(案)について」ご報告いたします。
《第6次千葉市生涯学習推進計画(案)に関する説明》

吉野委員長 ありがとうございます。これは生涯学習等の軸に図書館が組み込まれているので。
それでは以上をもちまして本日予定しておりました議事は終了となります。限られた時間の中で貴重なご意見ありがとうございました。また議事の進行に対しまして皆様のご協力をいただき誠にありがとうございました。

<閉会>

【問い合わせ】

千葉市教育委員会事務局
生涯学習部中央図書館管理課
TEL 043-287-4081